



市立室蘭総合病院 広報誌

# くじらんネット

病院の理念  
おもいやりの心がかよう病院

## 病院の基本方針

- ・信頼される医療を持続的に提供します。
- ・自治体病院としての役割と責任を担います。
- ・経営の健全化と効率化に努めます。

## 溶接工肺(鉄肺)

市立室蘭総合病院  
副院長／呼吸器外科部長

たが はし のり ゆき  
高 橋 典 之



西胆振地区は主要産業として金属加工業がありますが、今回皆さんに知っていただきたいテーマとして「溶接工肺(鉄肺)」を取り上げました。呼吸器外科は肺・縦隔に関する手術を担当しますが、肺腫瘍切除の依頼があり、CTを精査すると肺腫瘍以外に患者さんにとって重大な情報が漏れ隠れている事があります。図1のCT像をご覧ください。黒矢印で「腫瘍」と書かれた比較的大きな、と言っても5mm程度の陰影は切除依頼があった腫瘍です。しかしそれ以外の非常に小さいがびまん性に広がる粒状影(小さな白矢印で一部表示)が私には気になっていました。この様な陰影を専門用語でtree-in-bud pattern(芽吹く木の枝)と言い、春先の小枝に小さな芽が芽吹く様子を表現し、小枝が細気管支、芽が肺胞あるいは肺胞周囲の変化を意味しています。すなわち経気道的に何かを吸い込んで起こした変化を意味します。この患者さんに外来でお会いした時、肩で息する様子にやはり何かが起こっていると感じました。聴診では明確なヒュー音は聞かれませんが、依頼科で施行された呼吸機能では肺活量、一秒量に問題はありません。そこで職歴を聞くと長年溶接の仕事をされ、防塵マスクはほとんど使用しなかったとの事です。もう一度拡散能を含めた呼吸機能検査を施行してもらったところ、拡散能の極端な低下を認めました。小さな腫瘍で拡散能が低下する事は考えられず、「溶接工肺」を疑いました。手術で切除した切片に鉄染色する事を依頼したのが図2の右です。正常肺の中には鉄は存在しませんので青く染まった鉄は溶接によって吸い込んだヒュームに含まれるものです。この吸い込んだ鉄が肺胞内で炎症を起こし、

肺胞から毛細血管への酸素の移行を妨げているのです。

「溶接工肺」は塵肺に当たり、十分な換気・防塵マスクの着用等により予防する事が出来ます。ぜひ溶接関連の職業に従事している方は予防と禁煙をお願いします。

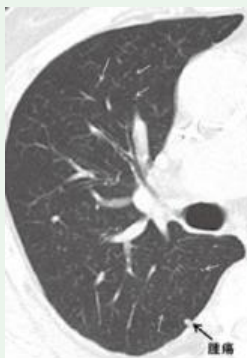
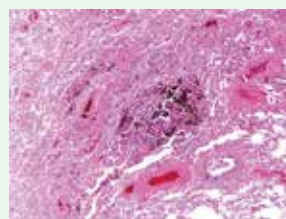
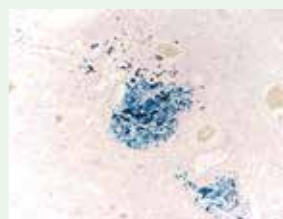


図1



HE染色 x40



ベルリンブルー染色(鉄染色)x40

図2

# シリーズ 健康講座

第33回

## 《 神経内科 》

### 「神経内科」で診る病気



神経内科 おおつか ちくみ  
大塚 千久美

「神経内科って、どんな病気を診る科ですか？」紹介されて当科を受診された患者さんやご家族からこう質問されることが、まだ少なくありません。また、「神経内科」という診療科があることを今まで知らなかったといわれる方もいます。

今回は、「神経内科」について少しでも理解していただくために説明したいと思います。

#### 神経内科とは

神経内科はわかりにくいといわれます。とくに名前が似ているため、精神科、精神神経科、神経科、心療内科とよく間違われますが、これらの科はおもに気分の変化(うつ病や躁病)、精神的な問題やこれに伴う体の不調を診療します。

神経内科は名前のおり神経を診る内科です。神経は、頭から手足の先まで全身に存在します。ある場所によって、脳(頭の中)、脊髄(背骨の中)、末梢神経(手足や体)と呼ばれます。また、その役割からは、運動神経(筋肉に指令を出し手足を動かす)、感覚神経(冷たい、熱い、物に触れているなどを感じる)、自律神経(生命維持のために体の機能を調節する)に分けられます。このような神経に異常があるのが神経内科の病気です。

神経内科では、神経の他には筋肉の病気も診ることを追加しておきます。代表的な病気が筋ジストロフィーです。

#### どのような症状がある時に神経内科に受診すればよいのか

症状としては、手足がしびれる、うまく力がはまらない、歩きにくい、ふらつく、しゃべりにくい、ものが二重に見える、頭痛、かつてに手足や体が動いてしまう、ものわすれ、などたくさんあります。

しかし、例えば「歩きにくくなった」という症状があっても、その原因が神経内科の病気なのか、整形外科の病気なのか患者さんにはわからないこともあります。

気になる症状があるが、どの科に受診すればよいかわからないときは神経内科を受診していただければ、その上で、骨や関節が原因なら整形外科に、手術が必要なら脳神経外科にご紹介します。症状の原因を捜すのも神経の内科である神経内科の重要な役割です。



## 薬局の主な業務

薬局では、薬剤師が調剤係、注射調剤係、麻薬管理係、病棟薬剤係、薬品情報室に分かれて活躍しています。



### 調剤係

医師が処方した内服薬、外用薬などは薬の重複や相互作用(飲み合わせ)を確認し、患者さんが安心して服用できる様、調剤を行っています。また、入院患者さんには錠剤の飲み忘れや飲み間違いを防ぐために一回の服用分を一つの袋に包装し、専用トレイにセットするなど、病棟のお薬管理にも関わりを持っています。



### 麻薬管理係

医療用麻薬は、手術時の麻酔での鎮痛や、激しい痛みを伴う病気の患者さんの苦痛を緩和するためにはなくてはならない薬です。しかし、乱用による健康被害が社会的に問題となっているため、法律による厳格な管理と使用が義務付けられています。そのため、専任の薬剤師が麻薬管理者として、医療用麻薬の保管、記録などの適正管理業務を行っています。また、職員には正しい取り扱いが行われるよう働きかけています。



### 注射調剤係

抗がん薬や高カロリー輸液は、免疫力の低下した患者さんに投与されることが多いため、クリーンルーム内で無菌的に調製を行います。特に抗がん薬は、医師から提出されるレジメン(抗がん薬の用法・用量、投与期間を明記した計画書)管理下で厳密なチェックのもと、安心・安全な治療を行える体制を整えています。



### 薬品情報室

院内で使用する薬や新薬、OTC医薬品(一般用医薬品)に関する情報と副作用情報などを収集し、評価・管理しています。また、お薬の鑑別、医療スタッフからの質問、院外処方せんに関する保険薬局(調剤薬局)からの問い合わせ窓口となり、医薬品の適正使用に努めています。



### 病棟薬剤係

入院中の患者さんへの服薬指導、薬に関する相談を受けています。また、薬が患者さんに投与される前の処方チェック、処方提案なども行っています。その他、病棟の薬の保管・管理の業務なども行っています。院内多職種スタッフと連携し、チームで皆さんをサポートしています。

おくすりに関する疑問やお困りのことがありましたら、薬局窓口へお気軽にご相談ください。



# リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017

リレーフォーライフとは、がん患者さんや  
そのご家族を支援し、地域全体でがんと向き  
合い、がん制圧を目指すチャリティ活動です。  
当院では「くじらんハート」というチームを  
組み、24時間、仲間とタスキを繋いで夜通  
し歩くりレーウォークに毎年参加していま  
す。このような院外活動に加え「がんサロン」  
等、院内においてもがん対策に力を入れてい  
ます。がんになっても、あなたらしく過ごせ  
ますように今後も全力でサポートしていき  
ます。



## 第9回災害訓練を終えて

しも だて ゆう き  
麻酔科 下 舘 勇 樹

第9回災害訓練が9月30日に行われました。当院は2008年に災害拠点病院の  
指定を受けて以来、年1回の訓練を実施しています。災害訓練は、地震などの災害で  
多くの患者さんが病院へ運ばれる際に、院内でどのような受け入れ体制を作り、診療  
するかを検討するものです。今回は市立看護専門学院、近隣の3消防本部、行政や他  
の災害拠点病院などにもご参加いただきながら、本物の災害と見間違ふような真剣さ  
で行われました。

当院では今後も訓練を続けて、万一の際にも地域住民の皆様に必要な医療サービス  
を提供できる体制を作ってまいります。



### 患者・家族の皆様の権利とお願い

医療は、患者の皆様と医療従事者との相互の信頼と協力によって実践されます。両者は、単なる契約関係や  
パートナーシップ（親権主義）にあるのではなく、お互いの信頼感に支えられている「良いパートナーの関係」にある  
ことが最も望ましいと考えております。この考えのもとに市立室蘭総合病院は、患者の皆様のご権利と意思を尊重  
して、患者・家族の皆様も一緒に治療に参加できるような最善の医療の提供に努めております。

#### 患者の皆様のご権利と責務

##### 皆様のご権利

1. ご自身にとっての最善の医療を受けることができます。
2. ご自身の病気の診断・病状・治療方針などについて、分かりやすい言葉や方法での納得できる説明と的確な  
情報を受けることができます。
3. ご自身（あるいは家族）の意思で治療方法が選択し決定できます。また他の病院の意見を求めることも、  
臨床研究中の新しい治療に関する情報の提供を受け、これに参加することもできます。
4. ご自身のプライバシーが守られ、診療明細書の提示や自身の診療記録の開示を求めることも、また知りたくな  
い情報を拒否することもできます。

##### 皆様のご責務

5. ご自身の人格・人生観・価値観・宗教観・趣味趣向などは尊重されますが、診療・治療上の必要な指示や  
助言はお守りください。
6. 通院・入院中は院内規則を守り、迷惑行為を慎んでください。
7. 受けた医療に対しての医療費（自己負担分）は必ずお支払ください。（責務を守って頂けない場合は、当院  
での医療提供が継続できないこともあります。）



市立室蘭総合病院 広報委員会

〒051-8512

室蘭市山手町3丁目8番1号

事務局総務課

TEL (0143) 25-3111 FAX (0143) 22-6867

<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org8400/>